

Ⅲ－３ 社会資本の適正な維持管理

今後も整備していく社会資本が増加するとともに，高度経済成長期に集中的に建設された既存の社会資本が老朽化し，集中的な更新や大規模な補修が必要になってくるため，アセットマネジメントシステムを活用した計画的な維持修繕や，施設の長寿命化により，各年度の予算平準化と総費用の縮減を図るとともに，利用者の安全確保や，施設の機能維持に向けた適正な維持管理に取り組んでいきます。

【主な取り組み】

- アセットマネジメントシステムを活用した維持管理計画の策定と推進
 - ・次世代への財政負担の軽減を図るため，主要な公共土木施設について平成 25 年度までにアセットマネジメントシステムを活用した「維持管理計画」を策定し，施設の長寿命化などライフサイクルコスト(建設・更新・維持管理の総費用)の縮減を推進
 - ・既存の道路照明灯に比べ消費電力が小さく寿命が長いLED道路照明灯の導入
- 新たな公との連携の推進
 - ・県民が主体的・自発的に，道路や河川の清掃や草刈などに参加する「アダプト活動」等の促進

【参考】アセットマネジメントの概要

公共土木施設を資産（アセット）としてとらえ，施設の状態を客観的に把握・評価し，中長期的な資産の状態を予測することにより，ライフサイクルコストが最小となる補修工法と補修時期を選定する総合的な管理・運用（マネジメント）方法です。

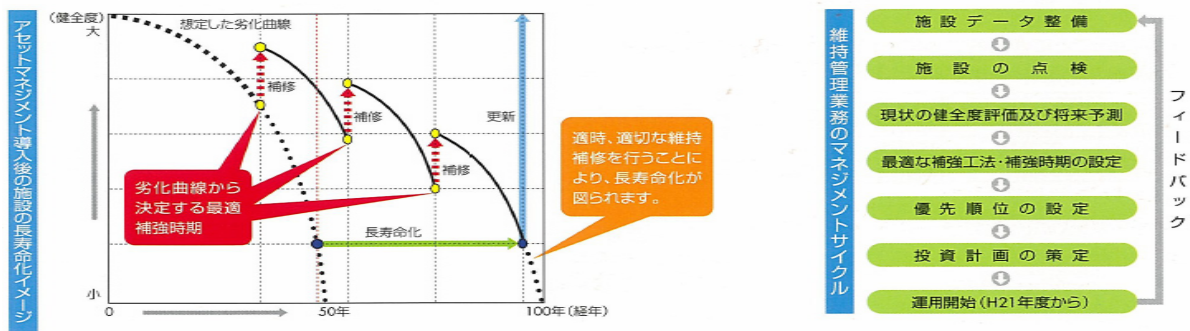
アセットマネジメントの導入により，予算的制約の下，計画的・効率的に維持管理を行う形態への転換が図られます。

[アセットマネジメントの導入効果]

施設点検データの蓄積に基づき、施設ごとに最適な時期に補修を実施することにより、施設の長寿命化、ライフサイクルコストの縮減及び予算の平準化を図ることができます。

- 施設点検結果を経年的に蓄積することにより、劣化・損傷等の進行を推定（将来予測）できます。
- 補修履歴を経年的に蓄積することにより、ライフサイクルコストが最小となる補修工法、補修時期の設定ができます。
- 最適な時期に最適な補修工法で補修を実施することにより、施設の長寿命化、維持管理費を含んだライフサイクルコストの縮減と予算の平準化を図るための補修計画を策定できます。

長寿命化のイメージ



補修・更新費のイメージ

